



“実践的”抗菌薬の選び方・使い方

細川直登 編

● A5 頁 236 2014 年
定価：本体 3,300 円＋税
[ISBN978-4-260-01962-0] 医学書院刊

「アメリカでは、アメリカでは」と連呼する留学帰りの医者は、ややもすると『出羽の神』とやゆされて煙たがられることがある。日本とアメリカの医療との大きな違いの一つに抗菌薬の使い方が挙げられる。今でこそ感染症の良書が散見されるが、以前はどうしても日本の感染症教育が遅れていたため、現場に立ち続けた年配の医者は、製薬会社や薬剤添付文書を頼りに独学し、抗菌薬の知識が自分でも系統立って整理がついておらず、弱点を突かれるようで『出羽の神』を煙たかったものだ。またアメリカと同様に高用量(本書では「標準使用量」としている)を使用すれば、保険適用外で削られたりもするので、そんな知識は役に立たないと現場では思われた。

でももう大丈夫。本書は、日本で保険診療をする上でどう戦っていけばいいかをきちんと解説してくれる。保険適用範囲内であくまでも戦いたい医者、保険適用を超えて使用したい医者、双方が納得いく医療を本書で見つけることができる。決して『出羽の神』ではなく、日本で医療をしていく上でどう落としどころを見つけながらやっていけばいいのかがわかる点は、実地医家

にとって本書は大きな福音となるだろう。

第Ⅱ部は薬剤の特性の基本を学ぶことができ、初学者にとって頭を整理するのに役に立つだろう。どんな敵(細菌)にどんな武器(抗菌薬)で戦うべきか、各武器(抗菌薬)の特徴はどうなっているのかの全体像がよくわかる。

第Ⅲ部はかゆいところに手が届く一押し章だ。腕に自信のある実地医家にとっては、同じ系統の武器(抗菌薬)でも微妙な使い分けがわかっていい。「同じ系統だから何でもいいよ」とは言わなくなるはず。うんちく好きにはたまらない秀逸なまとめ方をしている。ドラえもんだって空を飛ぶときはタケコプターだけに頼っているのではないじゃないか。空を飛ぶ道具は他にもたくさんあって、「ふわふわ薬」「強力うちわ『風神』」「乗り物ボール」「乗り物アクセサリ」「フワフワオビ」「たんぽぽくし」「風ため機」「バードキャップ」他にも……あ、もういい? ……とにかく微妙なさじ加減で使い分けるこつが満載だ。血となり肉となるように3回は読み返してほしい。本書を読んで抗菌薬を使い分けられれば、抗菌薬もきっと泣いて喜ぶはず……?